

## 事業計画の概要を記載した書類(別記様式76)の記載例

## 別記様式 7 6

事業計画の概要を記載した書類 (再生活用用)

## 1. 事業の全体計画 (変更指定申請時には変更部分を明確にして記載すること)

## 全体計画の概要を記載

(記載例)

下水汚泥排出者	〇〇浄化センター
汚泥の性状	高分子系脱水消化汚泥 (含水率80%)
汚泥の利用量	100トン/年 (乾物換算20トン) (0.4トン/10a/年)
利用地面積	250,000m <sup>2</sup> (50,000m <sup>2</sup> に5年ごとに利用)
利用作物	牧草、小麦、馬鈴薯
運搬の方法	排出者が産業廃棄物収集運搬業者に委託
利用の方法	利用作物により4月又は11月の降雨のない日を選定し、搬出した下水汚泥を、搬入後直ちにスプレッターにより直接施用し、施用後速やかにロータリで耕起し、土壌とよく混和する。

## 2. 処分する産業廃棄物の種類及び処分量等

産業廃棄物の種類及び性状	汚泥 (下水汚泥)
1日当たりの処分量	直接施用の場合については空欄のままとする。 たい肥盤でたい肥化する場合については、1日当たりの汚泥の処理能力 (単位: トン/日) を記載
1年当たりの処分量	年間の汚泥の利用総量 (単位: トン/年)
取引関係 (排出事業者)	排出者の住所、名称、代表者を記載
取引関係 (再生輸送業者)	輸送業者の住所、名称、代表者、(許可番号) を記載
再生活用の方法	農地への具体的施用方法 (受入から、たい肥化し、施用するまでの流れ) を記載 詳細、全体の処理、活用フローは資料1-2参照
利用方法が同様の市販品との成分等の比較	資料1-5肥料登録証、生産業者保証票、下水汚泥分析結果のとおり。
本事業が営利を目的としていないことの説明	資料4-1のとおり、下水汚泥を排出者から無償で提供を受けることから、営利を目的としていない。
備考	

- 各欄の斜字で示した部分については、内容について具体的に記載
- その他の部分については、そのまま又は選択して記載